

平成 28 年 11 月 21 日

南砺市長 殿

福野北部自治振興会長

澤田清治



野尻川原区長

鷹西 清



野尻川原地区内の市歩道端部における安全柵の設置に関する要望書

野尻川原地区内の用水路において、11月9日水難死亡事故が発生しました。野尻川原自治会で緊急に事故の対応策と周囲の安全性をチェックしたところ、事故が発生した地点を含むスクールバス停周辺については自治会として最優先で再発防止策を講じることを検討中ですが、その他の一部の歩道の端部において、児童の落下・水難事故の恐れがあることが確認されました。

今回の水難事故水路は幅が狭く、水深も浅い水路ですが、水流が非常に速いことが原因と推測されております。水流に着目すれば、スクールバス停横の水路では水流がゆるやかですが、要望個所の水路では歩道から45cmの落差がある上に、水流が事故発生水路とほぼ同様の急な流れとなっており、危険性が高いことが確認されました。

できるだけ早期の防護柵設置を要望するものであります。

記

- 1、対象箇所 野尻川原地内 鷹栖一石井石油線の一部歩道 地図参照
- 2、要望事項 図示の箇所において、歩道からの落下防止柵の設置
- 3、要望理由 歩道から落下すると、下に流れの速い危険な水路があるため
- 4、添付資料 資料-1 要望個所の状況
資料-2 全戸配布の水難事故防止注意チラシ

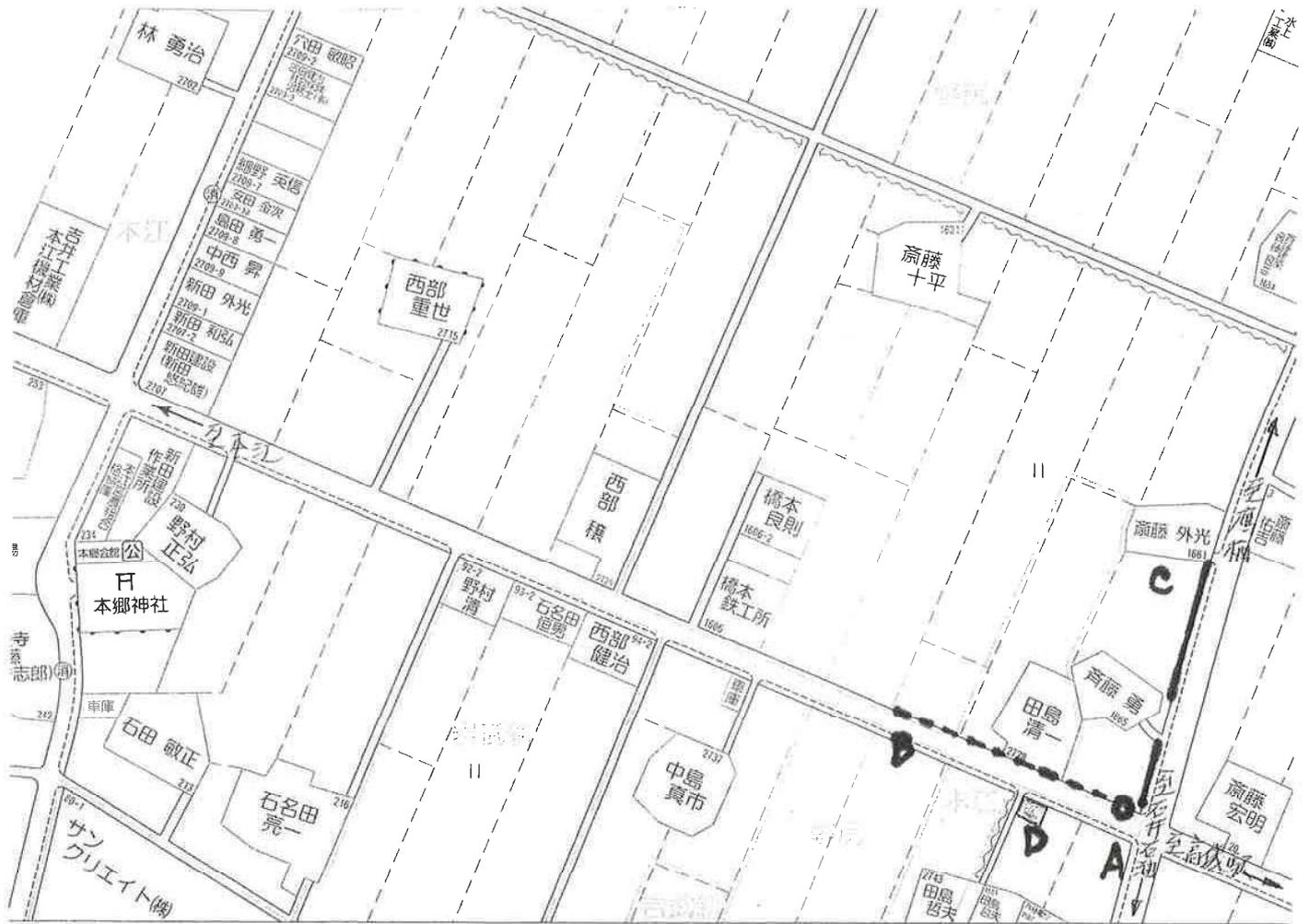
H28-072-001 建設課 道路河川維持係



以上

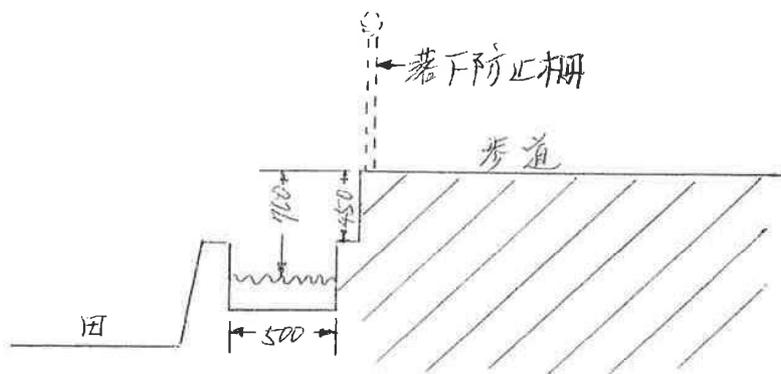


資料-1 要望個所の状況



- A: 水難死亡事故個所
- B: 野尻川原自治会での最優先対策予定個所
- C: 本要望の個所(歩道からの落下防止柵の設置)
- D: スクールバス停

C 個所における概ね各断面図



平成 28 年 11 月 20 日

住民各位

水難事故多発にご注意

本江区長
若竹町区長
野尻川原区長

安全で安心のできる地域づくりを目指して改善活動を進めているところでありますが、残念ながら本年本江用水において下記のような 2 件の水難死亡事故が発生しました。3つの地域が一体となり、再発防止策を緊急に協議しているところであり、当面優先順位の高い個所について、応急処置を施す予定にしております。

しかしながら、対象範囲が広いことや該当水路につきましても極めて区間が長いことから、完璧な予防処置をとることは困難な状況であります。

住民各位におかれましては、この状況をご理解いただきますと共に、危険な当該水路近傍に近づかないなどの特段のご注意を払っていただき、事故の未然防止にご配慮下さいますよう、お願い申し上げます。

< 水難事故の状況 >

本江用水：川幅約 65 cm、水深約 31 cmですが、流れが非常に速い

平成 28 年 8 月 地図の A 個所

11 月 地図の B 個所

